



【学校教育目標】

真理を求め、  
自己の確立に努力する人

心身共に健康で明朗な人

他と協力し、  
自主的・創造的な人

【東中健児像】

山と高く生きよう

川と強く生きよう

平野と広く生きよう

知

体

徳

【学校での取組】

- 「わかる・できる」授業の実践を進めます。(3つの視点による授業改善、1人1台端末、ICT機器等を活用した授業実践の取組)
- 家庭学習の充実と習慣化を図ります。(取組計画と実践、改善のサイクルの確立)
- 家庭との連携を図り、個別の支援を必要とする生徒への適切な指導と支援に努めます。

- 心と体の健康に留意し、生命を大事にする教育を推進します。(各種講演会、教室の開催)
- 自らの健康に目を向けさせる健康教育を推進します。(感染症対策、健康・食育講演会、薬物乱用防止教室等の開催)
- 校内外の安全指導の充実を図ります。(交通安全指導、安全点検等の実施)

- 豊かな心の育成に努め、思いやりのある人間関係づくりを推進します。(生徒会4大伝統、ボランティア活動の充実、道徳の授業)
- 図書館経営を充実させ、読書活動の活性化に努めます。
- 情報モラル及びICT機器の利用に関する指導の充実を図ります。(技術科における指導、情報モラル教室等の実施)

■目標：自己評価アンケート肯定評価（AB評価）80%以上を目指す

【生徒の取組】

- 授業が「わかる・できる」ように集中して取り組みます。(チャイム席、学習用具の準備、ノート、ワークの活用)
- 時間を有効に使い、計画的に家庭学習に取り組み、学習習慣を身につけます。
- 各自「わからない・できないこと」は質問して「わかる・できる」ようになります。

- 心と体の健康に注意し、各種講演会等から学んだことを活かし、生命を大事にする生活をします。
- 健康な生活や健康診断結果について関心を持ち、健康づくりに取り組みます。
- 事故のない安全な生活を心がけます。(登下校、交通安全、校舎内外の生活、部活動)

- 相手を思いやり、自分がされた嫌なことはしません。悩み事や困り事は相談します。(友、先生、家の人、相談窓口等)
- 朝自習時間や長期休業などの時間を有効に使い、読書に励みます。
- 情報モラルやルールを確実に守って情報通信機器を有効に使います。

■目標：自己評価アンケート肯定評価（AB評価）80%以上を目指す

【家庭の協力(お願い)】

- 授業が「わかる・できる」ために「わかタイム」(PTAとの共催)に取組み、認める、褒める、励ますなどの声掛けをしましょう。
- 家庭学習ができる環境づくりをしましょう。
- 個別を支援が必要な時には、学校と連絡をしましょう。

- 心と体の健康に留意し、生命を大事にする学校生活や家庭生活について、家庭でも話し合いましょう。
- 健康な生活や健康診断結果に関心を持ち、健康づくりに取り組みましょう。(病院等受診)
- 校内での生活や校外での安全について話題にし、状況に応じた声掛けをしましょう。(交通安全、校舎内外の生活)

- 思いやりのある人間関係を大切にして、いじめについては学校と連携しましょう。
- PTA等の読書の取組に協力し、家庭内や地域での読書活動を進めましょう。
- 情報機器の使い方について、家庭内でルールを決めて、使い方を確認しましょう。

子どもとの対話を行いながら、家庭での取組をお願いします。■目標：自己評価アンケート肯定評価80%以上を目指す

※「まなびフェスト」とは、めざす子どもたちの姿の実現に向けて、学校と家庭とで協力して重点的に取り組む具体的内容・方法を示したものです。